



行政視察等報告書

令和元年8月14日

米子市議会議長様

会派名 信風
代表者氏名 中田利幸 
提出者氏名 伊藤ひろえ 

下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	中田利幸、安達卓是、伊藤ひろえ
期日	令和元年8月5日から令和元年8月7日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 8月5日 岡山県総社市 障がい者の就労支援について 8月6日 大阪府門真市 中学生放課後学習支援「Kadoma塾」について 8月7日 大阪府堺市 ひきこもりの相談と支援に係る取り組みについて	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 135,970円

総社市視察報告

障がい者千五百人雇用について

～岡山県総社市の挑戦～

(令和元年8月5日) 13:30～15:30

総社市役所

総社市 保健福祉部 福祉課：西村佳子課長

総社市 保健福祉部 福祉課：ナカヤマ課長補佐

総社市 保健福祉部 福祉課 障がい福祉係：桑 和也主任

〔概要〕

平成17年3月1市2村合併。現在、約68000人の人口が微増傾向。障がい者雇用、ひきこもり対策、子育て支援、デマンド交通等社会的弱者政策を中心に福祉先駆都市をめざしている。

障がい者千人雇用（現在千五百人雇用）は市長のトップダウン。障がいをもつ子どもの親からの意見や、支援を求める人が市役所を訪れる等、その必要性を感じ、障がいをもつ人が生まれてから亡くなるまで総社で暮らせるよう雇用に力を入れていくこととし、平成23年4月～「障がい者千人雇用」を開始しハローワーク、企業関係者などで組織する「障がい者千人雇用委員会」を設置し課題を抽出する。同年7月「就労支援ルーム」の設置、10月総社商工会議所と包括協定締結、12月「障がい者千人雇用推進条例」制定、翌年平成24年4月「障がい者千人雇用センター」設置（社会福祉協議会に業務委託）、平成29年5月に「障がい者千人雇用」事業による就労者1000人を達成。

「障がい者千人」とは、その当時手帳所持者約3200人の中、生産年齢人口1200人、その中で働いている人は約180人だったため1000人雇用（全ての障がい者を雇用につなげる）。千人達成後、1500人の雇用を目指す。

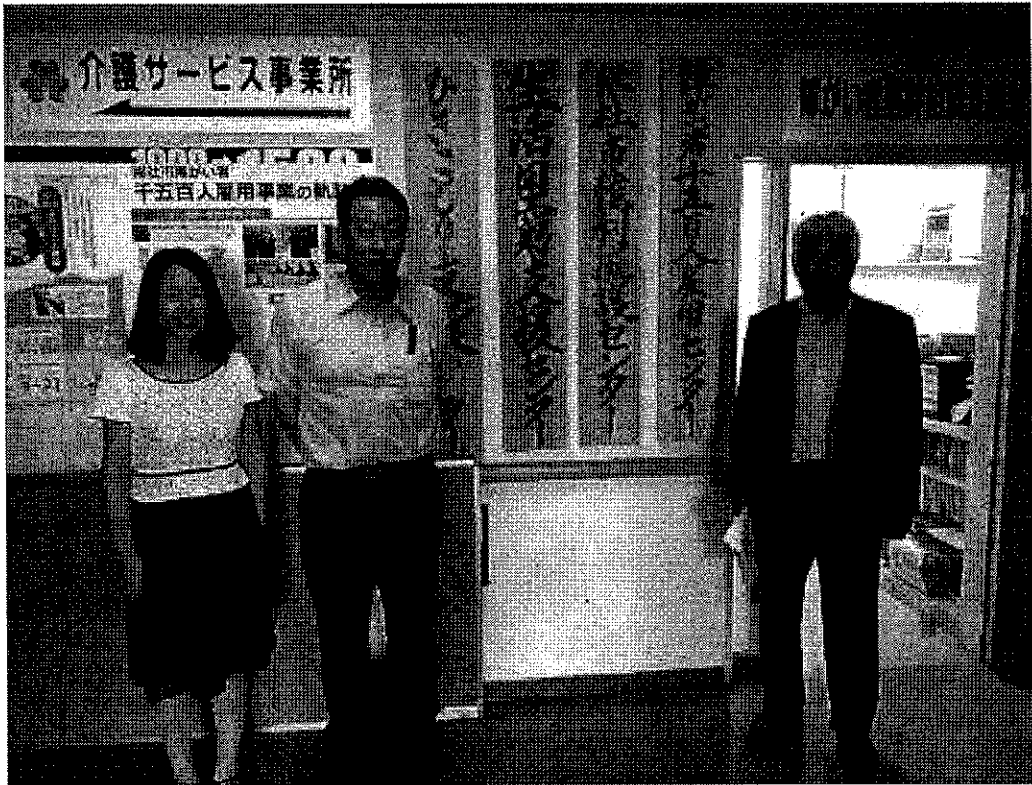
就労の定着を図るため継続支援については、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援（定期的な職場訪問等）を行っている。障がい者の能力を引き出し、企業に理解を求める取り組みを継続しながら受入先の事業所を拡大。

A型事業所から一般就労に移行して6か月経つと、10万円の就労支援金制度（市独自施策）を設けており励みとなる効果もある。

〔所感〕

障がい者雇用は障がい者一人ひとりの特性を理解したうえで、マッチングから就労した後も継続的な支援が必要になることからマンパワーの不足が課題になり、またそれらの経験も必要だと理解した。担当する職員や関係機関ばかりではなく、その地域や事業所の中にサポートできる市民を育てることも重要だと思った。人が生きていく上で、居場所があり自分の特性や強みを発揮でき、社会に貢献できることは大変重要だと改めて思い、大いに参考となった。

同様の視察が年間約50件あると聞き、大変全国から注目されている事業であると肌で感じた。



様々な機能を持つセンターが1室に集まることで連携が図れる

門真市視察報告
中学生放課後学習支援 kadoma 塾について

令和元年8月6日10:00~11:45

門真市教育センター（門真市民プラザ内4階 教育センター内）
門真市教育委員会 峯松大輔課長
太田雅貴様

〔概要〕

学ぶ意欲があり、学力があっても、経済的な理由や家庭の事情により、家庭で学習塾など通えないという生徒たちに対し、学習塾を活用した学習支援を行う。そのことで、進学につなげ、就職する際に夢を諦めることがないよう支援し、将来の門真市を担う人材育成にもつなげるねらいがある。

対象は中学校3年生のみで、毎年募集チラシを配布し、1次選考は作文審査・選考テスト審査（数学・英語）をした後、2次選考で面接審査を実施。面接は1人15分かけ、熱意・将来の夢・進路・貢献度などを審査員が聞く。（現在は募集に対し全員入塾）ただし、所得によっては考慮することを募集チラシに記載。

本人の志望校に対して、進学できたか、成績はどの程度変化したか等効果検証をしている。生徒と保護者とも塾に関する感想や改善点などのアンケートをとり、今後に反映させることにしている。

施設は、旧府立高校校舎を再利用。

総事業費は4,263,680円、内訳は学習塾の委託費約380万円、施設管理の委託費は約46万円、郵送など事務費となっている。その中の3,197,000円は、大阪府の「ひとり親家庭向上事業」の補助金である。

〔所感〕

低所得者や貧困対策で学習支援は他の自治体でも取り組みがあるが、教育委員会の所管で高校受験のための学習支援は先進的な取り組みであると言える。kadoma 塾は公益社団法人 全国学習塾協会より派遣される講師により展開される。門真市の教職員も見学し、学校に持ち帰り授業改善も図られるというメリットがある。

今回、2教室の kadoma 塾夏季カリキュラムを現地視察した。講師の熱意ある講義、落ち着いて学習できる良い環境の中で授業が進められており、参観することで、塾生が受講する様子や習熟度などを理解することができた。中学生1年生から対象にできないか、受講内容に国語も追加できないかと思っただが、数学・英語が主であり、理科・社会も学べるものの、国語に対する生徒のニーズが低く実施がない。学ぶ意欲や、生徒が主体性をもって塾に通い、それぞれに成果をあげ、そのうえ市に対する愛着や誇りにつながる良い取り組みであった。

堺市視察報告
ひきこもり支援の取り組みについて

令和元年8月7日10:00～11:30

堺市こころの健康センター
医長 遠藤晃治様
相談係長 山根信子様
堺市役所
議会事務局：総務課 瀧本卓也様

〔概要〕

平成18年4月、堺市こころの健康センター開設時にひきこもり支援の取り組みが始まり、医師、心理士、保健師、精神保健師等専門職が関わっている。(平成31年4月現在では67自治体(全都道府県・指定都市))

国の調査によると全国で約83万人のひきこもり(満40歳から満64歳のひきこもり状態にある者は61.3万人)*平成31年3月「生活状況に関する報告書」
堺市では満15歳～満39歳の推計値は3400人、満40歳～満64歳の推計値は4000人。課題は高齢化と長期化である。(10年以上支援継続は4人にひとり)

ひきこもり相談は、家族の相談→本人の相談→本人のグループワーク等集団支援の利用→学校、ボランティア、就業体験、就職など4段階にステップアップする。

ひきこもり相談は家族によるものが大半を占め、当事者のほとんどが相談や支援を拒否することから家族中心に支援を進めている。その時点では「本人が安心してひきこもっていただける関係を保証できるようになること」を目標にする。

ひきこもりは3つに分類でき、第一群(統合失調症、気分障害、不安障害を主診断とするひきこもり)、第二群(広汎性発達障害や知的障害など発達障害を主診断)、第三群(パーソナリティ障害、身体表現性障害、性同一の問題など主診断)制度や手帳がない第三群は社会的ひきこもりと言われ難しい問題である。

ひきこもりのピアサポーター養成は元ひきこもりを4～5年かけてサポーターをつくり支援者を増やしている。

〔所感〕

長い期間の経験と専門職配置で適切な体制が取り組みに活かされていると感じた。ひきこもりの相談や解決には長い期間を要することから、国や行政の安定した機関や体制の下、民間支援が行われることが重要だと理解できた。例えば、家族の相談から本人の相談に移行するのに1年から2、3年、あるいはもっと長くかかることもあるとのこと。またその

後の本人のグループワーク等集団的支援の利用ができるまで、数年がかかるということがら相当な社会参加まで相当な期間を必要とする。しかし、初期の家族支援を行うことで、当事者本人が安心してひきこもっていただける家族関係をつくることができると、本人の生活やこころが確かに香変化することが理解できた。また、ひきこもりには専門職によるカンファレンスが重要であるということも理解できた。重複する困難を抱える家庭や生活困窮者に対しては訪問が効果的だと思っていたが、ひきこもりには「会う・引き出す・説教」等してはならないことだと説明を受け、支援の難しさを実感した。丁寧な説明と専門的な内容で大変充実した視察であった。

行政視察行程 (会派：信風 3名 ※8/7のみ2名)

月 日	行 程	宿 泊 先
8/5 (月)	<p>9:28 伯耆大山駅 11:04 備中高梁駅 11:26 総社駅 11:49 市役所 JR 特急やくも10号 JR 伯備線・長船行 タクシー</p> <p>総社市行政視察 午後1時30分から午後3時30分まで 【調査項目】障がい者の就労支援について (障がい者千五百人雇用) 【議会事務局】 ☎0866-92-8332</p> <p>16:24 総社駅 16:55 岡山駅 17:03 新大阪駅 17:48 新大阪駅 18:13 JR 野江駅 18:33 野江駅 18:52 門真市駅 (送迎) JR 伯備線 JR 新幹線さくら558号 JR おおさか東線 徒歩 京阪本線 ・岡山行 ・新大阪行 ・久宝寺行</p>	<p>スーパーホテル門真 ☎06-6904-9000</p>
8/6 (火)	<p>9:30 門真市駅 門真市民センター (送迎)</p> <p>門真市行政視察 午前10時00分から午前11時30分まで 【調査項目】中学生放課後学習支援「Kadoma塾」について (現地視察)</p> <p>13:02 門真市駅 13:20 京橋駅 13:34 新今宮駅 13:56 新今宮駅 14:04 堺東駅 (送迎) 京阪本線 JR 大阪環状線快速内回り 南海高野線急行 ・中之島行 ・大阪、西九条行 ・橋本行</p>	<p>ダイワロイネット ホテル堺東 ☎072-224-9055</p>
8/7 (水)	<p>堺東駅 ところと健康センター タクシー</p> <p>堺市行政視察 午前10時00分から午前11時30分まで 【調査項目】ひきこもりの相談と支援に係る取り組みについて (現地視察)</p> <p>12:59 ところと健康センター 13:08 新今宮駅 13:24 大阪駅 13:37 大阪駅 13:45 新大阪駅 14:08 新大阪駅 14:54 岡山駅 15:04 伯耆大山駅 タクシー 南海高野線 JR 大和路快速 JR 京都線快速 JR 新幹線 JR 特急 ・難波行 ・天王寺行 ・米原行 さくら559号 やくも17号</p>	

旅費計算表

信風 会派行政視察

岡山県総社市、大阪府門真市、大阪府堺市

令和元年8月5日～令和元年8月7日(2泊3日)

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行	料	金	日	当宿	泊	料
8/5	伯耆大山駅～備中高梁駅	JR				5,620		特	別	新幹線	議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円	9,800円	8,000
(月)	～総社駅	JR												
	総社駅～岡山駅	JR								3,200				
	～新大阪駅	JR												
	～JR野江駅	JR												
	野江駅～門真市駅	京阪本線				210								
8/6	門真市駅～京橋駅	京阪本線				270					1,500			10,180
(火)	～新今宮駅	JR				180								
	～堺東駅	南海高野線				260								
8/7	堺東駅～新今宮駅	南海高野線				260					1,500			
(水)	～大阪駅	JR				5,620								
	～新大阪駅	JR								3,200				
	～岡山駅	JR												
	～伯耆大山駅	JR								1,440				
計	議員旅費				45,490	12,420	0	3,990	6,400	4,500	0	18,180		
	随員旅費				0									

出席議員 中田利幸、安達卓是、伊藤ひろえ

議員旅費 45,490 × 2名(※) 90,980 円 ※安達議員、伊藤議員
 中田議員旅費 33,050 円 中田議員は別添のとおり
 タクシー代 580 × 1 = 580 円(総社駅→総社市役所)
 タクシー代 1,320 × 1 = 1,320 円(堺東駅→このころの健康センター)
 お土産代 1,400 × 1 = 1,400 円(このころの健康センター→堺東駅)
 3カ所 8,640 円(総社市、門真市、堺市)
 資金前渡 135,970 円

令和元年8月5日 ~ 令和元年8月6日 (泊2日)

旅費計算表

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地までのキ口数	運賃	グリーン	急行料金		日当	宿泊料	
								特	別新幹線		議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円
8/5 (月)	伯耆大山駅 ~ 備中高梁駅	JR				5,620		2,550		1,500		8,000
	~ 総社駅	JR										
	総社駅 ~ 岡山駅	JR										
	~ 新大阪駅	JR							3,200			
	~ JR野江駅	JR										
	野江駅 ~ 門真市駅	京阪本線				210						
8/6 (火)	門真市駅 ~ 野江駅	京阪本線				210				1,500		
	JR野江駅 ~ 新大阪駅	JR				5,620						
	~ 岡山駅	JR							3,200			
	~ 伯耆大山駅	JR						1,440				
計	議員 旅行 費用				33,050	11,660	0	3,990	6,400	3,000	0	8,000
	随席 議員 中田利幸				0							

中田議員旅費 33,050 円